

令和7年度 第2回 部門長会議(web) 議事録

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 令和7年12月9日(木) 19:30~20:30

場所 ZOOM ミーティング

参加者 森本剛史・大鹿均・中山章文・浅野栄太・杉下毅・加藤洋平・森川咲子  
大澤稜・棚橋正智・松岡涼太・澤田清矢・大村将希・中切健太

記録 中切健太

### 1. 報告事項

中部圏医学検査学会について

11月1~2日に三重県にて行われた。盛大に開催されていてよかった。

来年度開催: 岐阜県での開催予定

拡大研修会について

11月30日にOKBふれあい会館(岐阜地区担当)

担当部門: 血液部門・輸血部門。市民約20名が参加した。

市民公開講座の内容が心に沁みるという評価

検査と健康展について

12月7日に大垣市イオンモールにて開催された。

来場者が予想より多かった。体験型企画が好評であった。課題としては、動線が悪く、中央部門の通行性に問題があった。学生参加、献血推進活動も行われた。

岐阜県医学検査学会について

3月15日にOKBふれあい会館で行われる予定である。担当は西濃地区。

第75回日本医学検査学会について

9月開催(通常春開催から秋に変更) 開催地は幕張メッセ

担当は青森県。一般演題座長募集などはまだ準備段階

### 2. 部門研修会について

実施期限

助成金申請研修会: 2月末まで、3月上旬までに決算書提出

岐臨技研修会: 3月末まで、3月上旬までに決算書提出

### 3. 拡大研修会の今後について

理事会からの依頼により、次年度以降の拡大研修会の必要性について検討を実施。

参加者の主な意見は以下のようになった。

廃止派: 目的が不明確であり、義務的に実施されているのみで意義が薄い

継続検討派: 対象者の明確化と目的設定があれば継続の価値あり

共通課題: ターゲットがわからない、部門間の連携不足、企画側のモチベーション低下

今後については、開催の可否について地区理事にて協議していただき、地区理事主体で目的や内容を決めていただく。学部においては、協力できる範囲で協力して研修会を行っていくことを理事会にて報告する。

#### 4. 中部圏支部学会（岐阜県開催）について

テーマ: 臨床検査の力で未来を開く

サブテーマ: 技術力、連携、応用、人間、創造力

学会長: 森本学術部長が就任

開催時期: 10月～11月予定

実行委員会: 昨日第4回実行委員会開催済み

一般演題目標: 130演題

部門別企画: 部門がコラボする企画を検討中

学生企画: 学生フォーラムやキャリア形成のボードゲーム等

子ども万博連携: 担当の企画団体と協議中

#### 5. 日輪議体制の変更について

全国的な体制改編があり、7支部制、10部門制となる。

各支部から学術代表者1名を選出する。

10部門となるにあたり生理検査では神経生理、超音波、循環器と分割される。

#### 6. 人員確保に関する提案について

生理検査より部門員確保についての提案書が提出された。

現状の課題:

部門員の確保が年々困難化しており、後任未定のため10年以上所属している部門員もいる。スタッフのモチベーション低下も起きている。

提案内容:

技師会が主導して（トップダウン方式にて）部門員の選出を行う。

各地区より設定人数の部門員を選出する。2年の任期で部門員が回っていけるようにする。次世代育成の促進や、任期があれば部門員に就任する会員が見込まれる。

各部門の反応

人員確保が困難な現状では、検討していくべき施策であるが、地域の会員数の差や被選出者のモチベーションの低下が起これると懸念がある。

理事会にて報告をし、今後の在り方について検討していく。

#### 7. その他の協議事項

新人サポート研修会について

今年度の座長制度導入で予算超過をしてしまったため、来年度への改善を検討する。

学会誌について

岐阜医療科学大学 中川先生と岐阜大学医学部附属病院 牛丸先生からの投稿があった。

部門長への査読依頼

部門員の変更について


遺伝子部門は部門長を次年度より中山先生から澤田先生へ交代予定

学術部長は森本先生から石田先生へ交代予定

#### 8. 次回予定

次の部門長会議: 2月～3月

以 上

署名人 \_\_\_\_\_ 森本 剛史  印

署名人 \_\_\_\_\_ 大村 将希  印